令和7年

第1回臨時会

会 議 録

(第1号)

令和7年1月16日

令和7年第1回 江差町議会臨時会
(第1号)

◎期日及び場所

令和7年1月16日(木) 10時00分 江差町役場 議場

◎議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
〔町長 行政報告〕
日程第3 議案第1号 令和6年度江差町一般会計補正予算(第14号)について
日程第4 議案第2号 工事請負契約の締結について

◎会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
〔町長 行政報告〕
日程第3 議案第1号 令和6年度江差町一般会計補正予算(第14号)について
日程第4 議案第2号 工事請負契約の締結について

◎出席議員(11名)

議	長	萩原	徹
副	長	塚本	眞
議	員	打越	東亜夫
〃		飯田	隆一
〃		小野	寺眞
〃		小梅	洋子
〃		西海	谷望
〃		出崎	太郎
〃		大門	和幸
〃		増永	一彦
〃		田畑	豊利

◎欠席議員(1名)

議	員	室井	正行
---	---	----	----

◎出席説明者

町	長	照井 誉之介
副町	長	田畑 明
教育	長	出崎 雄司
総務課	長	岸田 礼治
まちづくり推進課	長	布施 順司
財政課	長	長尾 恵一
税務課	長	竹内 強
町民福祉課	長	西海 谷靖
町民福祉課	参事	中澤 貴徳
健康推進課	長	若狭 巧
産業振興課	長	畑 竜哉
産業振興課	参事	久保田 栄徳
追分観光課	長	国仙 敏孝
建設水道課	長	岸田 雄治
高齢あんしん課	長	畑 明日香
出納室	長	岸田 真由美
学校教育課	長	宮津 宗介
社会教育課	長	安田 克臣
総務課	主幹	森 直彦
まちづくり推進課	主幹	秋山 悦子
まちづくり推進課	主幹	明上 真也

(議会事務局)

局	長	梅川 年代
書	記	三宮 弘之

※ベルが鳴る

(議長)

ただ今の出席議員数は、11名です。

定足数に達しておりますので、会議は成立致しました。

ただ今から、令和7年第1回江差町議会臨時会を開催致します。

(議長)

本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

(議長)

日程第1、会議録署名議員を指名致します。

会議録署名議員は、会議規則第129条の規定により、4番、出崎議員、8番、小野寺議員を指名致します。

(議長)

日程第2、会期の決定を議題と致します。

今臨時会の会期は、本日1日とすべき旨に、議会運営委員会委員長から報告がありました。

従いまして、今臨時会の会期は、本日1日にしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「なし」の声)

(議長)

異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日とすることに決定致しました。

(議長)

次に、町長からの行政報告の申し出がありますので、これを許可致します。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」(行政報告)

寄附採納についてご報告申し上げます。

令和6年12月24日、江差町字本町38番地、株式会社五勝手屋本舗、代表取締役、小笠原敏文様より、図書、図書館の図書充実のためにと、現金10万円のご寄附がありました。

昭和62年に小笠原文庫を創設以来、毎年ご寄附頂き、これで寄附総額720万円となり、購入させて頂いた図書数も令和5年度までで2,053冊を数えました。文庫は北海道関係資料を中心とした貴重な蔵書構成となっており、町民の利用に広く供し地域全体に重要な存在となっているところでございます。

頂きました寄附金につきましては、更なる文庫充実のため、本臨時会に補正予算として提案しております。

次に、令和6年12月26日、札幌市中央区南9条西5丁目421番地、株式会社セコマ、代表取締役社長、赤尾洋昭様より企業版ふるさと納税のご寄附がございました。

セコマグループ様からのご寄附は今年で3年連続となり、地方創生の活性化のため、地域が推進する持続可能な地域づくりを応援したいとのご意向から、当町では北の島の島事業に活用させて頂きます。なお、ご寄附額については、株式会社セコマ様のご意向により公表を控えさせて頂きます。

以上、ご寄附がございましたことをご報告申し上げますとともに、改めましてご厚志に厚くお礼申し上げます。

(議長)

以上で、行政報告を終わります。

(議長)

日程第3、議案第1号、令和6年度江差町一般会計補正予算(第14号)についてを議題と致します。

提案理由の説明を求めます。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」（提案理由）

議案第1号、令和6年度江差町一般会計補正予算（第14号）についてでございます。

今回の補正につきましては、令和6年度低所得世帯物価高騰支援給付金事業など4事業に係る経費の補正をお願いするものでございまして、歳入歳出予算の総額にそれぞれ、9,694万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、67億347万9千円とするものでございます。

また、併せまして繰越明許費の補正をお願いするものでございます。

具体的内容については、担当課長より説明致しますので、ご審議の上、議決頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

「財政課長」

財政課長。

（議長）

財政課長。

「財政課長」（補足説明）

おはようございます。（「おはようございます」の声）

それでは、議案第1号について、補足説明させていただきます。

議案書3ページの補正予算構成表をご覧ください。

はじめに、令和6年度低所得世帯物価高騰支援給付金事業です。資料1も併せてご覧ください。

本事業は、昨年11月22日に閣議決定された国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策に基づき、物価高騰により特に家計への影響が大きい低所得世帯への支援を行うため、令和6年度住民税非課税世帯に3万円、更に対象世帯のうち18歳以下の子供がいる世帯に対して、子供一人につき2万円を追加で給付するものです。

事業期間は、本年2月から給付を開始し、翌3月末までに給付金の給付及び国の補助金事務を全て完了させる予定です。

補正の内容につきましては、給付金として、対象の1,600世帯と子供加算50人分を合わせた合計4,900万円のほか、事務費として、システム改修費及び手続きのための郵送経費を措置します。

補正額は、5,130万9千円。財源は、国の令和6年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金低所得世帯支援枠により全額措置します。

次に、児童手当システム改修、児童手当の異次元の少子化対策です。

本事業につきましては、令和6年10月から施行された、所得制限の撤廃や高校生年代までの支給期間の延長等からなる、児童手当の抜本的拡充を円滑に実施するため、昨年の第2回及び第3回定例会におきまして、業務システムの改修と児童手当の不足分を既に補正頂いているものですが、本年6月改版予定のデータ標準レイアウトに対応する必要がありますことから、追加のシステム改修を実施します。

補正額は、17万2千円。財源の国庫支出金は、子ども、子育て支援事業費補助金の児童手当制度改正実施円滑化事業となります。

次に、エエ町江差みんなの商品券事業です。資料2を併せてご覧下さい。

物価高騰の影響を受けている町民の経済的負担を軽減するとともに、町内小売店等での消費を促進し、町内経済の好循環を図るため、全町民を対象とする商品券を発行します。

対象者は、本年1月1日に住民登録されている全ての町民。商品券は、一人当たり6千円分を、世帯主宛に世帯員、世帯員全員分を郵送します。

利用期間は、本年3月31日まで。利用可能な店舗は、委託先となる江差商工会に申込みのあった町内小売店又は事業所となります。

補正額は、4,536万7千円。財源の国庫支出金は、令和6年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金推奨事業メニュー分です。

また、本事業につきましては、商品券の利用期間を本年度末まで確保することによって、換金精算事務等が4月以降にずれ込むことから、繰越明許費の補正も併せてお願いするものです。

議案書7ページの第2表繰越明許費補正も併せてご覧下さい。

また、繰越明許費については、記載のとおり、北の江の島構想推進に係る事業者選定支援業務につきましても、北の江の島拠点施設整備に係る要求水準の確定、公募資料の作成及び事業者要件等の検討に時間を要していることから、年度内での事業完了が見込まれないため、今回、追加をお願いするものです。

議案書3ページの方にお戻り下さい。

最後です。図書館資料整備です。本件は、先ほど行政報告致しましたとおり、株式会社五勝手屋本舗様からのご寄附により、小笠原文庫の図書充実を図るものです。補正額は、10万円です。

以上、第14号補正の合計は、9,694万8千円となりました。財源内訳は記載のとおりです。

これで補足説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願い致します。

(議長)

以上で提案理由の説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑希望ありませんか。

「増永議員」

はい。

(議長)

増永議員。

「増永議員」

それではあの一、私の方からですね、繰越明許費補正の関係を質問させていただきます。

えー今回こちらの方の、北の江の島事業構想の選定に関わる、えーま、繰越金という形で今説明を受けましたが、えーまず、何故このような形で繰り返しになったのか、まず原因をお聞かせしたい、あっお聞かせ頂きたいと思います。これがまず1つ。

もう1つ。えーこれは、はっきり言って入札等々に関わる、えー関係だと思えますので、ここで入札関係の部分の質問も可能なのかどうか併せて2点、質問致します。

「まちづくり推進課長」

まちづくり推進課長。

(議長)

まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

えー増永議員からの、ご質問にご答弁申し上げます。

繰越しの理由につきましては、先程、財政課長からの方からもご説明をしたとおりでございます。えー北の江の島拠点施設整備に係る要求水準の確定、えー公募資料の作成及び事業者要求の検討に時間を要していると言う事で、繰越しをするものでございますのでご理解お願い致します。

それと入札に関する質問が出来るかどうかと言う事でございますが、ちょっと中身が、えーとちょっと不明でございますので、その辺はちょっと、どういった部分でのって事でのご質問頂ければと思いますが、よろしくお願い致します。

「増永議員」

はい。

(議長)

増永議員。

「増永議員」

えーそれではですね、あのまず、うー、じゃあ入札の方ちょっといいですか。

えーと実はですね、あの一こちら1月の14日北海道建設新聞に、えー新得町の道の駅の、おー記事が出てました。まさしく江差町と全く同じ状況になっておりました。

あ一こちらでもですね、DBO方式で、えー公募を、おー昨年7月と11月に行ったと言う事です。その中で、えー公募者ゼロと言うような結果になりました。

それで私は、新得町さんに電話で、えー確認を致しました。そしたら、えー地域戦略課の加賀谷さんという方とお話させて頂きまして、何故、2回も入札が不調に終わったのかと言う原因について、えーまあ簡単ではありますがお聞き致しました。

その中の1つは、やはり物価高騰と、やはりその(たいむぜい)が有りまして、価格的な物があるという部分が1つ。

もう1つは、新得町では、あの一この道の駅を作るのに、えー対策委員会っていう委員がありまして、そちらの方の要望が、あの一強く出されております。ここはちょっと江差とは違うとこですけれども、その要望が出された中で、1番キーポイントになったのは、指定管理者が運営する物販、飲食、これに対して、直営ではないという文言がついてたそうです。ところが、入札に参加した業者が、これを全てテナントでやろうとしたものですから、町との折り合いが合わなかったという原因が考えられると言う事でお話しておりました。

そこで、今これから、あー入札等々を作る訳ですから、その中で、今現在、江差町は、今言った、まずその指定管理者が、あの一飲食、物販等に関わる部分をテナントを認めるのかどうなのかその辺の考え方をお聞かせ願えればと思います。

それとですね、えーと先程の、その一、おー繰越明許せいの、なんか原因は、まあ色々、ま、多々説明はあったんですけども、やはり当初、最初からの計画段階で、やはり問題があったんでないですか。やはり短期間にやろうとしたっていう経緯があるんじゃないんでしょうかね。その辺のところもう一度、あの一ご答弁お願いします。

(議長)

副町長。

「副町長」

はいあの一、増永議員ですね、えーと、ま、繰越の理由は、いずれにしてもまずこの1,337万9千円については、予算が議決されているものを、ま、年度末まで終わらない状況が有るんで、4月にずれ込んで繰越しと言うのが、ま、そういう。

それから、まあ入札の内容等が新得町さんの例を出しましたけども、あの一前回もちょっとお伝えしましたけども、今、私共の、まあ、スケジュール間で行くと、えー要求、ま、水準公募、公募内容と言うかですかね、これを鋭意に実は詰めております。

まあコンサルも入れながらやってる中で、それを議会の全員協議会にも、おー今日

まあ新聞にも実は出た部分もございますけども、えー事業費の圧縮だとか色々まあ町としてもそう言ったことを前回の全員協議会でもお伝えしてはございますけども、改めて議会の全員協議会の場で、ご説明をし、意見をし、あの一聴収しながら協議をする場も持つと言うふうに言ってございます。私共も言ってますんで、えー今の段階でちょっと申し訳ございませんが、1月末位を目途とはしておりましたけども、この場で、今ご意見頂きましたけども、ま、2月の月上旬頃を今日途に、要求水準の内容等については、今、増永議員のご質問の内容にも触れる部分有りますので、その時点で色々やり取りしたいと、このように思いますんでよろしくお願ひします。はい。

(議長)

よろしいですか。

「増永議員」

はい。

(議長)

増永議員。

「増永議員」

それです、あの一、新得町さんは2回入札やって、で、最終的に3回目は、あの一の、通常の、お一分割発注という形を取った訳ですけども、江差町もそのような形で、あの一入札、DBO方式が不調に終わった場合は分割って言う事も考えられるのか、ちょっとその辺のところも説明お願ひします。

(議長)

副町長。

「副町長」

今、まだ要求水準をご説明していない状況でございますので、今から分割発注とかそういう事ではございません。

ま、1度で進められればいいなって言う事で、そういう精度の高い、出来るだけ内容で、えー2月の月上旬頃目途にご説明申し上げますんで、以上です。

(議長)

他に質疑希望ありませんか。

(「なし」の声)

(議長)

質疑希望ありませんので、質疑を終結致します。

(議長)

お諮りします。

本案については、討論を省略し、直ちに採決したいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「なし」の声)

(議長)

異議なしと認め、直ちに採決致します。

(議長)

議案第1号、令和6年度江差町一般会計補正予算(第14号)について、原案に賛成の方の挙手を求めます。

(議長)

挙手、多数であります。

よって、議案第1号については、原案のとおり可決されました。

(議長)

日程第4、議案第2号、工事請負契約の締結についてを議題と致します。
提案理由の説明を求めます。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」(提案理由)

議案第2号、工事請負契約の締結についてでございます。

令和6年8月30日に契約を締結しました令和6年度町道五厘沢山崎線道路改良工事について、設計変更による工事費の増額により、契約金額が5千万円を超えることから、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規

定に基づき、議会の議決を求めるものでございます。

契約の内容につきましては、契約の目的、令和6年度町道五厘沢山崎線道路改良工事、工事場所、檜山郡江差町字五厘沢町地内、契約の方法、指名競争入札、契約の相手方、檜山郡江差町字豊川町168番地1、株式会社前田組、代表取締役 前田憲男、契約の金額、変更前4,620万円、変更後5,465万9千円となるものでございます。

ご審議の上、議決頂きますよう、よろしくお願い致します。

(議長)

以上で提案理由の説明が終わりましたので、質疑を許します。
質疑希望ありませんか。

(「なし」の声)

(議長)

質疑希望ありませんので、質疑を終結致します。

(議長)

お諮りします。
本案については、討論を省略し、直ちに採決したいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「なし」の声)

(議長)

異議なしと認め、直ちに採決致します。

(議長)

議案第2号、工事請負契約の締結について、原案に賛成の方の挙手を求めます。

(議長)

挙手、全員であります。
よって、議案第2号については、原案のとおり可決されました。

(議長)

以上で、今臨時会に付議された事件については、全て議了致しました。
これで、会議を閉じます。

令和7第1回江差町臨時議会を閉会致します。
お疲れ様でした。

閉 会 10:18

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

北海道檜山郡江差町議会

議 長

署名議員

署名議員